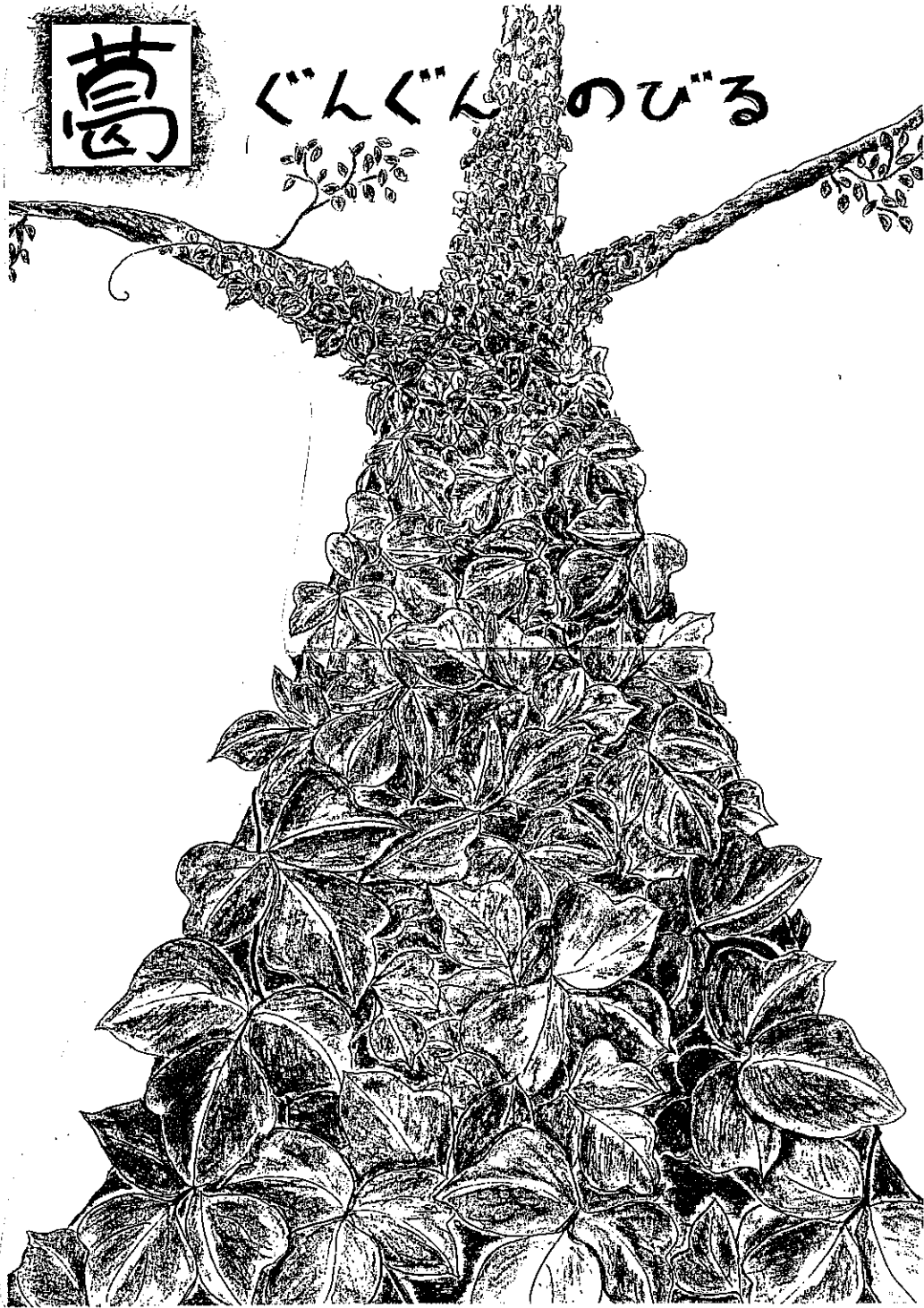




ゴロスケ報々



友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●7月定例会報告●

H23. 7. 17 (日) 13:00~16:15

出席者 中里(議長)・関根(記録)・山口・青木・漆原・落合・篠原・高橋・高柳・平野・藤田・村松・渡辺R

- 1 行事・PJ活動の報告・予定確認
- 2 センター改修中の友の会物品(7月末までに各PJで準備。事務局は仕分け梱包済)
 - a. PC・印刷機・印刷機用紙・作業日誌は仮設事務所に保管
 - b. 活動に必要な物は車庫に保管
 - c. 2012年5月迄使用しないものは外部倉庫(市が借りる倉庫)に保管
- 3 センター改修後の活動拠点に必要な備品類(7月中に友の会としてとりまとめて要望)
- 4 ボランティア保険申請手順について確認
 - ・ボランティア活動中2件の負傷事故が発生
 - ・各PJ等で酷暑期の事故防止について再度徹底を図る
- 5 横浜自然観察の森ボランティアまつり(10/23)について(詳細別記)
- 6 防災(応急)訓練(7/24):友の会から4名参加予定
- 7 市・森づくりボランティア団体への登録(支援を受けられるよう手続きを進める)
- 8 センターより
 - ・ホタルイベントへの協力感謝
 - ・友の会行事一般参加者で、途中参加者の名簿漏れに留意
 - ・園内ベンチで転倒事故が発生し、移動式ベンチを撤収。今後の対応は市が検討中



<次回の定例会>

日時: 9月11日13:00~ (第3日曜日ではありません)

場所: 上郷森の家ミーティングルーム(センター改修中につき注意)

議題: 各PJ活動状況他

(定例会はどなたでも参加できます。)

●東日本大震災義援金のためのバンダナ頒布●

2008年に、友の会20周年を記念して、その当時の観察の森ガイドマップをデザインしたバンダナを作成しました。

友の会では、そのバンダナの収益を、東日本大震災の義援金(日本赤十字社宛)とすることが、今年4月の総会で決議されました。

その後、スプリングフェアや源流祭などで、また、各プロジェクトでも頒布に努めていただきました。

今回、なかなか観察の森に直接いらっしゃれない会員の皆様にもお声かけさせていただきます。

バンダナ1枚につき500円(+送料80円切手)の寄付をお送りいただいた方に、郵送させていただきます。

この寄付は、東日本大震災の義援金として、友の会から日本赤十字社に送ります。

在庫の有無や、寄付の送り先(!注:観察の森ではありません!)等をご連絡いたしますので、まずは、

kansatsunomori_tomo@yahoo.co.jp

まで、メールでご連絡ください。不明な点などのお問い合わせもお気軽に。

メールのタイトルには、「友の会バンダナ」と明記してください。

メールが使用できない方は、観察の森の渡辺レンジャー(TEL:045-894-7474)まで、その旨ご連絡ください。

〆切りは、9月15日です。なお、在庫が無くなり次第終了しますので、お早めに!

(事務局・ふじた:8月26日-9月4日まで不在のため、その間のお返事ができなくなりますこと、ご了承ください)

●ゴロ報の発送をしませんか？●

ゴロ報の会員への発送は、プロジェクトや事務局に所属する会員が中心になって行なっています。

「友の会の運営に興味があるけど、どうやって入れればいいかわからない」

「何か手伝いたい」

「事務仕事なら任せろ」

という方、ぜひ一緒にやりませんか？

二ヶ月に一度、「森を守るボランティア体験」の日の午後にやっています。気軽にセンター研修室へどうぞ。

回目の発送作業（担当：雑木林ファンクラブ）

日時：10/16（日）13:00～（1～2時間程度）

場所：自然観察センター研修室

ふむふむ

古来、トンボは「秋津」と呼んでおり、日本自体も「秋津島」または「蜻蛉島」と呼ばれていた。それほどトンボが沢山いたと同時に親しまれていたのだろう。そしていつの間にか飛ぶ穂に似ていることから「飛ぶ穂」がなまって「トンボ」になったという説もある。

日本には約200種類のトンボが生息している。その内38種が絶滅危惧種に指定されている。それでは、横浜自然観察の森園内にはどのくらいの種類が生息しているのだろうか。横浜自然観察の森調査報告2（1996）では33種類が報告されている。

KFC（カワセミファンクラブ）が調査を初めて5年経つが、新たに8種類見つかっている。しかし、1966年当時確認された内5種類は未確認になっており、しかも、昨年の調査では新たに3種類、今年1種類が確認されておらず、2011年7月現在では33→24種となり、調査を始めてから確認された8種類の内6種類も一過性の確認のようで、今年の確認種類数は、これから出現する種類も含め26程度が期待できるに過ぎない。

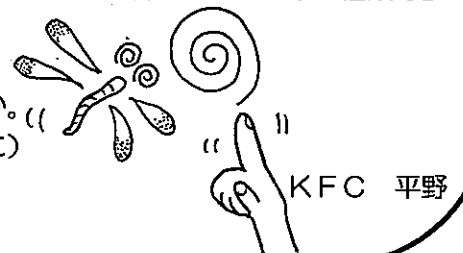
日本で見られる200種類の内、成虫が越冬するのはわずかに3種類だが、横浜自然観察の森では3種全て見ることが出来たが来年の保証はなく、チョウと比べると、横浜自然観察の森の環境はトンボにとって大変厳しい状況にあると言える。

オニヤンマやギンヤンマも滅多に見られなくなっている。年に1頭または数頭しか見られない種類も多く、何時見られなくなってもおかしくない種類は相当数にのぼる。

そこでクイズです。

オニヤンマは、卵からヤゴになり成虫になるには何年かかるでしょうか。

選択肢・・・ 1年・2年・3年・5年・7年 （解答は5ページに）



友の会活動報告

●ホタル博士になろう●

6月19日（日） 13:30～16:30

今年度1回目の親子行事「ホタル博士になろう」が行われました。

参加者最年少は4歳。ハイケボタルの湿地からゲンジの谷へ、観察の森園内の水の道を歩き、ホタルが育つために必要な環境や、ホタルがとぶ季節などを、体で感じながら学んでいただきました。

最初は緊張気味だった参加者でしたが、ミススマシの池につくころには、子どもどうしが互いにうちとけて、観察用具を貸し借りしたり、誰かが捕まえたヤゴをみんなで見たりしていました。

最後に、参加者が印象に残ったことをカードに書き、家族ごとの「ホタル大辞典」ができました。

友の会活動報告

●みんなでバードウォッチング●

“いきもののにぎわい”を確かめに、もりに来ませんか？

★7月10日 見聞きした鳥★

トビ、コジュケイ、キジバト、ホトトギス、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
計17種

参加者21名、スタッフ8名

次回のお知らせ

日時：9/11(日)、10/9(日)

9:00~13:00

受付：直接観察センター前に集合
どなたでも

★双眼鏡の貸し出しあります

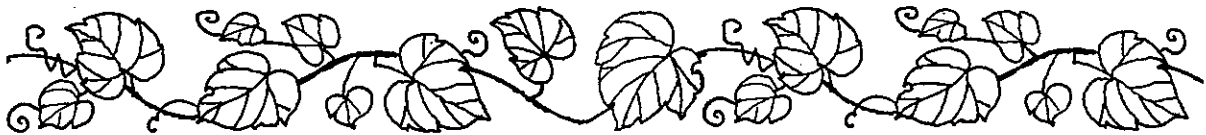
前日に、10日以上早い梅雨明け宣言。当日は文字通り「雲一つない天気」でした。気温も9時のスタート前には30℃を越え、暑い日差しの中でのバードウォッチングになりました。

怖いのは熱中症。コースもできるだけ日陰の道を選び、事前にこまめな水分補給を呼びかけました。

鳥たちも口を開けたまま、暑そう。

この時期、巣立った幼鳥たちが親鳥と一緒に行動する姿が見られます。この日も、スズメやシジュウカラの幼鳥を確認できました。

これからますます暑くなり、野外観察には厳しい季節ですが、夏に夏の良さもあります。無理なく楽しみましょう。



友の会行事のお知らせ

●定点カメラで動物調査●

(今回の報告)

今回初めて、定点カメラが捕らえた動物の同定に参加した。

写ってるー。コジュケイ、キジバト、ノウサギ、タヌキ、アライグマ。

コジュケイ、キジバトには、「みんなでバードウォッチング」の時にも出会うけど、

昼の森では出会えない生きものたち、ノウサギ、タヌキ、アライグマも

確かにこの森で生活しているんだ。

毎月第二土曜日、あなたも森の動物を見つけに行きませんか！

(次回の案内)

8/13(土)・9/10(土)・10/8(土)

10:00~12:00 小雨決行(雨天時日程変更あり)

12月までの毎月第二土曜

対象：友の会会員、どなたでも

内容：フィルム交換・写真の同定

持ち物：水筒・汚れても良い白っぽい服・歩きやすい靴・タオル・帽子・

虫除け(少し藪に入ります)。着替えもできます。

担当：事務局

友の会行事のお知らせ

●みずきの池ハイド前の草刈をしよう●

ハイド前の環境整備を行い、来園者に横浜自然観察の森に良い印象を持ってもらい、カワセミのあのコバルト色が目に焼きつくように、池の眺望を良くする草刈を行います。

1. 日 時 平成22年9月10日 土曜日
2. 集合場所 観察センター前 9時30分
3. 作業時間 10時00分～12時00分
4. 作業場所 みずきの池ハイド前
5. 持ち物 昼食・飲み物・軍手・汚れても良い服装



例年7月ともなれば、みずきの池ハイド前は草ぼうぼうとなりますが、カワセミの2番子がやってくる8月を避けて、幼鳥が落ち着くのを待って、9月に入ってから草刈りの環境整備をいたします。

カワセミファンクラブ 平野貞雄

●横浜自然観察の森友の会ボランティアまつり●

「秋の森体験ツアー」を開催します！

昨年末に開催してご好評の「ボランティアまつり」、今年は「秋の森体験ツアー」をテーマに実施します。一般の方々を対象に、友の会活動を楽しくPRする場です。

会員の皆様も是非ともご参加いただき、お手伝いください。

- 1 日 時 平成23年10月23日(日) 10時～13時
- 2 集合場所 モンキチョウの広場(会員は9:30)
- 3 対 象 一般(事前申込30～40名)及び会員(スタッフ・お手伝い)
- 4 持ち物等 お弁当・飲み物・動きやすい服装
- 5 内 容
 - ①友の会リニューアル紙芝居上演
 - ②一般参加者に畑で里芋・落花生・サツマイモを収穫してもらいます。
 - ③収穫後、一般参加者は3班に分かれて、園内の各ポイントのPJコーナーをガイドツアー方式で回ります。
 - ④各PJは日頃の活動状況をPRし、一般参加者にボランティアミニ体験をして頂きます。
 - ⑤12時30分頃全てのコーナーを回り終わるように進行します。
 - ⑥ 昼食は12時30頃とし、収穫物は調理し、昼食時に一般参加者に食べていただきます。(会員も同時に昼食)
 - ⑦一般参加者は、昼食終了後解散します。(13時目途)
 - ⑧各PJは後始末後解散とします。◆会員は「森のボランティアまつり」のサポーターとして、一般参加者の道案内や、収穫物の調理等のお手伝いをお願いします。
- 6 参加受付 当日モンキチョウの広場で受付します。
- 7 雨天時の対応について
◆当日朝のNHKの天気予報で、降水確率50%以上の場合は雨天中止とします。

事務局 平野

ふむふむクイズの答え オニヤンマは卵から成虫になるには5年掛ります。そのため生息環境の水質が5年間変わらないことが、大切な条件となります。

観察センターのとりくみ

救急救護訓練を実施しました

7月24日(日)、自然観察センターにて、救急救護の実習と訓練をおこないました。昨年度3月に行われた消防訓練の続編です。レンジャーのほか友の会から5名の方が参加しました。栄消防署上郷出張所の方を講師として招き、前半は通報の仕方や人の運び方、AEDの使い方を実習し、後半は「タンポポの道に人が倒れている」という想定でシミュレーションをおこないました。

練習とはいえ、連絡先や事故の状況を即座に答えていくのはなかなか焦りました。施設の所在地や自分の携帯電話番号は、正確に記憶しておかなければと改めて感じました。

自然観察センターでは、緊急時に備え、定期的にこのような訓練を実施していくことを検討しています。

当日の訓練の詳細をお知りになりたい方はレンジャーにお尋ねください。

25年間ありがとう

自然観察センター

来年度また会いましょう!

8月1日より自然観察センターは改修工事のため閉館しています。9月にはモンキチョウの広場に仮設施設が建ち、レンジャーはそちらに駐在する予定です。展示の一部は上郷・森の家のふれあい工房に移動します。

新・自然観察センターのオープンは来年5月の予定です。それまでみなさまにはご不便おかけしますが、リニューアルをあたたく見守っていただければ幸いです。



ホラントアさん ありがとう

(文・おおくぼ かなえ)



- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 5月 野草プロジェクトのみなさま | 外来種リストの見直し |
| 6/18 平野さん(カワセミファンクラブ) | センター主催イベントのサポート |
| 6/19 小杉さん(事務局) | センター主催イベントのサポート |
| 6/24 カワセミファンクラブのみなさま | にぎわいの谷の調査の調査 |
| 6/25 平野さん(カワセミファンクラブ) | センター主催イベントのサポート |
| 6/25 村松さん(自然と遊ぼう) | センター主催イベントのサポート |
| 6/25 小泉さん(自然と遊ぼう) | センター主催イベントのサポート |
| 7/2 漆原さん(事務局) | センター主催イベントのサポート |
| 7/2 村松さん(自然と遊ぼう) | センター主催イベントのサポート |
| 7/10 鳥のくらし発見隊のみなさま | にぎわいの谷の調査 |
| 7/25 カワセミファンクラブのみなさま | にぎわいの谷の調査 |
| 7月末まで 秋元さん(PJ-Strix) | 機材の貸出と相談 |
| 7月末まで 漆原さん(事務局) | 機材の貸出 |
| 8/6 志釜さん(森の絵本づくりの会) | 灰皿用・観察用フィルムケースのご提供 |
| 8/6 カワセミファンクラブのみなさま | にぎわいの谷の調査 |
| 8/14 鳥のくらし発見隊のみなさま | にぎわいの谷の調査 |
| 6月より現在まで 友の会のみなさま | 自然観察センター引っ越しへのご協力 |

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

おめでとう 来月は渡辺レンジャーの結婚式です♪ おめでとうございまーす!!

おぼえていますか？

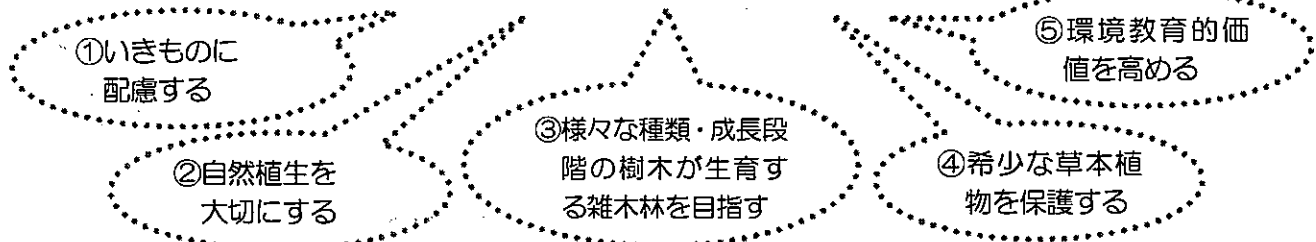
～みんなで考えた！森の将来像「保全管理計画」についてのとくみ②～

前号6月号では、保全管理計画を作り始める経緯や全体のゾーニングについて掲載いたしました。2回目となる今月号は「雑木林管理ゾーン」の管理計画についてご説明いたします。

雑木林管理ゾーンの目標

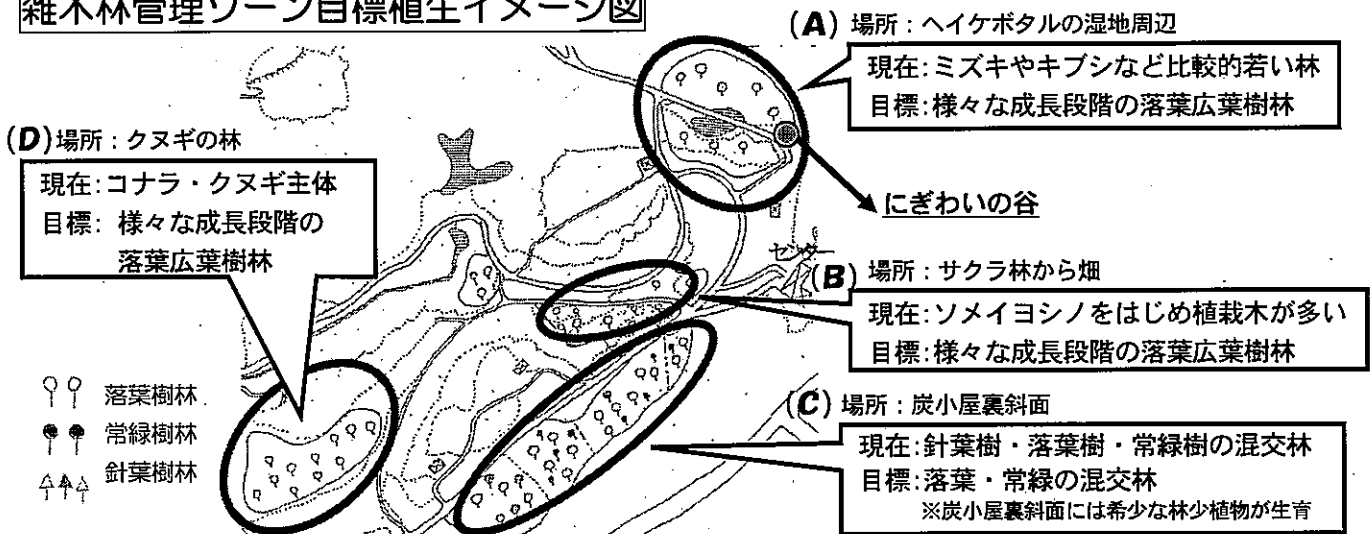
様々な環境の雑木林を配置する

雑木林管理ゾーン保全管理の基本方針5か条



※訂正：前号に掲載した「遷移させるゾーン」の説明で「手を入れずに」と明記しましたが、「中央は照葉樹林にしていくゾーン」に訂正させていただきます。

雑木林管理ゾーン目標植生イメージ図



※管理区を15区画に分けし(1区画約1,500㎡)順番に高木の皆伐更新を行っていく計画です。更新期間は15年1サイクルを基準にしています。

2006年より「にぎわいの谷」で調査・管理実行中！

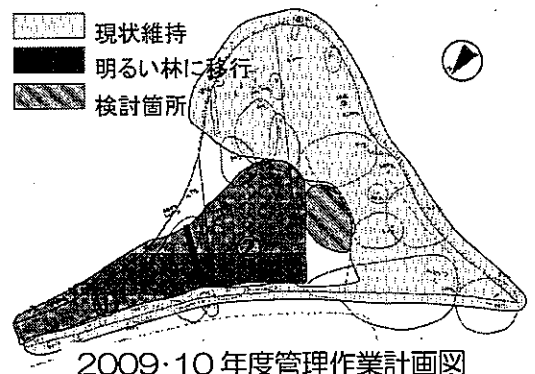
2006年来園者と友の会メンバーを対象とした主催行事をスタートに、上記のイメージ図を目指し、雑木林管理ゾーンの(A)の一角の計画づくりに着手しました。一角は「にぎわいの谷」という愛称がつけられました！

にぎわいの谷の目標は…

「明るい林」調査した結果を元に、生きものに配慮し、アオキやササ等を刈り明るい雑木林にしていくことが決まりました。

現在は…

- ・チョウ、トンボのチョウ調査：カワセミファンクラブの皆様
- ・鳥類定点調査：鳥のくらし発見隊の皆様
- ・選択的な管理作業：雑木林ファンクラブの皆様にご協力いただき、レンジャーと「にぎわいの谷」の順応的管理^{※1}を行い、明るい林を目指しています！



※1.調査結果から必用に応じて作業計画を見直していく。

(文：わたなべ はつえ)

行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

※今後、余震、計画停電等の影響により開催時期等変更が生じる可能性があります。事前に観察センターまでお問い合わせください。

●定点カメラで動物調査

9/10(土)・10/8(土)
10:00～12:00

小雨決行(雨天時日程変更あり)

12月までの毎月第2土曜

対象：友の会会員、どなたでも

内容：フィルム交換・写真の同定

持ち物：水筒・汚れても良い白っぽい服・歩きやすい靴・タオル・帽子・虫除け(少し藪に入ります)。着替えもできます。

担当：事務局

→4ページ参照

●みずきの池ハイド前の草刈をしよう

9/10(土) 9:30～12:00

対象：友の会会員

受付：直接観察センター前へ

持ち物：昼食・飲み物・軍手・汚れても良い服装

担当：カワセミファンクラブ →5ページ参照

●横浜自然観察の森友の会ボランティアまつり

10/23(日) 10:00～13:00

雨天中止

対象：一般(要・申し込み)および友の会会員

集合場所：モンキチョウの広場

持ち物：お弁当・飲み物・動きやすい服装

担当：事務局

→5ページ参照

■いきものを知る守るシリーズ

～バッタと原っぱ編～

日時：9月17(土) 10:00～15:00

対象：小学生とその保護者 40名

申し込み：事前申込制。9月3日締切。

担当：自然観察センター

■秋のはらっぱ探検隊

日時：10月1日(土)、2日(日)

10:00～12:00

対象：3～6才までの未就学児とその保護者 各回40名。

申し込み：事前申し込み制。9月17日締切。

担当：自然観察センター

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～

10/16(日) 9:30～12:30

受付：直接、上郷森の家ミーティングルーム1へ

対象：どなたでも 雨天催行

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

9/4(日)・10/2(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 直接観察センター前へ

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

9/11(日)・10/9(日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：直接観察センター前へ 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～

9/21(水)・10/19(水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：直接センター研修室へ 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

8/27(土)・9/24(土)・10/22(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 直接観察センター前へ

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2011年8月21日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yns_tomo/

E-mail: yns_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回：原稿締切9/17(土)、発送10/16(日) (担当：雑木林ファンクラブ)